

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度第4回大島区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 1 協 議（公開）

(1) 大島区地域活動支援事業の追加募集の審査について

(2) 地域協議会が必要と認めて審議する事項について

## 3 開催日時

平成27年7月10日（金）午後2時から午後2時30分まで

## 4 開催場所

大島コミュニティプラザ2階 市民活動室1

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：石塚隆雄（会長）、岩野實（副会長）、岩野幸子、内山愛治、高橋利津子、  
武江一義、中村朝彦、早川丈夫、丸田新一、横尾榮一、吉原忠正
- ・ 事務局：浦川原区総合事務所 春日産業グループ長、竹内建設グループ長  
大島区総合事務所 本山所長、太田次長、武田市民生活・福祉グループ長、  
池田班長、原主事（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容

### 【石塚会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 会議録の確認：早川委員に依頼  
協議事項(1)「大島区地域活動支援事業追加募集の審査について」事務局に説明を求める。

**【池田班長】**

資料No.1により説明

- ・事業番号No.1 各種イベント等に対応する事務機器整備事業

提案者 大島まちづくり振興会

補助希望額 428 千円

- ・事業番号No.2 大島小学校雪割り太鼓クラブ事業

提案者 大島小・中学校後援会

補助希望額 210 千円

以上2件の事業提案があり、審査をしていただく。なお、補助希望額は追加募集額と同じ63万8千円である。

**【石塚会長】**

委員に質疑を求めるがなかったので、会議を一旦休憩し、審査を行う。

(討議、審査を実施)

審査が終了したので、会議を再開する。審査した2件について、原案のとおり採択することよろしいか。

(委員から「はい」の声あり)

では、原案のとおり採択する。

続いて、地域協議会が必要と認めて審議する事項についてだが、前回の地域協議会で横尾委員から提案があり、提案理由の説明をしてもらった。本日、補足説明があれば横尾委員に願います。

**【横尾委員】**

特にない。

**【石塚会長】**

横尾委員から提案があった少子化対策について、自主的審議事項として審議するかどうか決定したい。

**【中村委員】**

審議することで決定したらどうか。

**【石塚会長】**

審議するとの意見が出たが、他の委員に意見を求める。

**【岩野副会長】**

同じく審議することに賛同する。

**【石塚会長】**

では、地域協議会として、この件について審議することで決定してよろしいか。

(委員から「はい」の声あり)

それでは、自主的審議事項として次回から審議する。ただ、少子化問題といっても様々な論点がある。どういうテーマに絞って審議したらいいか、次回までに検討してもらいたい。本日は、大島区における少子化の現状を知るため、事務局に説明を求める。

**【武田 G 長】**

資料「大島区の年少人口の推移」により説明。

- ・ 0歳から14歳の年齢階層は15に区分されるが、各年齢は平均8人となり、今後の小・中学校の1学級の児童・生徒数を考えると8人前後になっていくと推測できる。
- ・ 0歳児が6人となっているが、これについては4月1日現在の数字であり、今日まで県外へ1人、合併前上越市へ1人、合計2人が転出しており、今現在は4人となっている。保健師が把握している情報では、今年度の出生予定者数は2人という非常に厳しい現状がある。このまま少子化が続けば、子どもが産まれない年が出てくることも懸念される。
- ・ 最近話題となっている1%の人口取り戻しというものがある。島根県に中山間地域研究センターというところがあり、そこの所長が20年程前に提言したことである。具体的に言うと、500人が在住する地域があるとして、その地域へ20代前半の男女2人、30代前半の夫婦とその子供の3人、それから60代前半の夫婦2人、それぞれ1組ずつ毎年呼び込む。すると、人口は安定し、小・中学生については増加していくとされ、中山間地域研究センターで調査を行ったところ、実際にそのような地域が出てきたという。これを大島区にあてはめると、それぞれの単位で3組ずつ、毎年大島区へ定住してもらえれば、人口は安定し、小・中学生も増加していくと考えられる。毎年3組ずつ定住してもらうのは難しいと思われるかもしれないが、例えば保倉地区は毎年1組ずつ、菖蒲・大島・旭地区は2年から3年にかけて1組ずつ定住をしてもらうというように考えれば、手が届く目標に見えてくる。少子化対策における即効薬になるのではないかと思い、紹介させていただいた。

## 【石塚会長】

十分検討しながら、審議を進めていきたい。

予定していた議題は以上だが、他に質疑や意見があれば求める。

質疑や意見がないようなので、次回の日程は事務局と私で調整し、決定することで  
ご了承願いたい。

- ・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-594-3101（内線 61）

E-mail：oshima-ku@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。